

私たちの地域は、洞爺湖有珠山ジオパークの一部です。前回の通信では「ジオパーク：地球と生命のつながりを学べる貴重な地域」ということをお伝えしました。

でもジオパークらしさがわかるどころって、どこ？と思う方もいらっしゃるでしょう。

ジオパークの特徴がよくわかる場所のことを、「ジオサイト」とよんでいます。

洞爺湖有珠山ジオパークには、35ヶ所もジオサイトがあり、右の写真のような解説看板が設置されている場所もあります。



壮瞥公園の看板



ガイドツアーでも説明に使われています

洞爺湖有珠山地域では、有珠山噴火のたびに地形が変わりますが、看板の写真と比べてみると、その変化がよくわかります。

伊達市大滝区の三階滝や、豊浦町の礼文華海岸では、洞爺湖ができる前の火山活動でできた地形を見ることができ、洞爺湖町の浮見堂では、洞爺カルデラの変化について知ることができます。

上記以外の各ジオサイトについても、推進協議会のホームページで詳しく紹介しています。

ジオサイト紹介

壮 瞥 公 園

洞爺湖周辺でも屈指の絶景ポイント。梅の名所としても知られています。湖畔側の斜面約2万㎡が梅林となっており、5月上旬～中旬にかけては梅の花の向こうに洞爺湖、中島、遠くに羊蹄山が見えることも。

ジオサイトの解説看板では、ここを有珠山・羊蹄山・ニセコ・駒ヶ岳の4つの活火山が展望できるポイントとして紹介しています。春の散策にぴったり！



壮瞥公園から見た洞爺湖

～ 壮瞥公園までの行き方 ～

▶洞爺地区から行くな

湖畔沿いを仲洞爺経由で進み、道道洞爺湖登別線につきあたる約100m手前左側に公園入口。

▶洞爺湖温泉、壮瞥市街地から行くな

道道洞爺湖登別線ぞいにある旧「旅館さくら亭」前のT字路を仲洞爺方面に曲がる。約100mで公園入口。

※ 急な坂を1kmほど登ります。車でお越しの際は、すれちがい、駐車にご注意ください。